

平成 25 (2013) 年度

事業報告書

公益社団法人国際演劇協会日本センター

(1) 法人の概況

【社団法人国際演劇協会】

【定例総会】 6月22日(土) 11時～ 松竹株式会社大会議室

平成24年度事業報告について、平成24年度決算報告・同監査報告について、平成25年度事業計画案について、平成25年度収支予算案について、会員異動報告、公益社団移行についての報告、新法人の登記予定についての報告

【理事会】

第一回理事会 5月11日(土)16時より 松竹株式会社中会議室

新法人への移行手続きの現状について、ITI本部136回理事会出席報告、内村賞について委員会報告、今年度事業の進行状況について、事務局の移転問題について

第二回理事会 6月22日(土)10時より 松竹株式会社大会議室

平成24年度事業報告について、平成25年度決算報告・同監査報告について、平成25年度事業計画案について、平成25年度収支予算案について、事業委託に関する規程の整備について、会員異動

【事業委員会】

第一回事業委員会 4月20日(土)10時より 東京芸術劇場1階芸術監督室

【公益社団法人移行後】平成25年7月1日移行登記

【理事会】

第一回理事会 7月7日(日)午前11時より 松竹株式会社中会議室

会長・副会長の選任について、基本財産の一部運用財産への変更について、諸規程の制定について(確認)

第二回理事会 9月14日(土) 午前11時より 松竹株式会社中会議室

平成25年度4～6月期決算について、平成26年度事業に関する助成金の申請予定

第三回理事会 平成26年3月16日(日)午前10時より 松竹株式会社中会議室

平成26年度事業計画案について、平成26年度正味財産増減予算書案の討議について

【事業委員会】

第二回事業委員会(公益移行後第一回)

7月7日(日) 松竹株式会社中会議室

第三回事業委員会(公益移行後第二回)

8月4日(日) 午前10時より 東京芸術劇場1階会議室
 第四回事業委員会(公益移行後第三回)

9月14日(土) 12時より 松竹株式会社 中会議室
 第五回事業委員会(公益移行後第四回)

12月14日(土)午前10時より 東京芸術劇場 会議室

[編集委員会] 9月14日(土) 午後12時30分より 松竹株式会社 中会議室

[会員状況]

(正会員) 平成25年6月22日時点・・・218名

入会・・・0名

退会・・・3名

ご逝去・・・3名

平成26年4月1日時点・・・212名(団体)

(うち顧問にご就任いただいた田之倉氏、波多野氏、藤波(隆之)氏、堀氏にはH26年度総会で名誉会員へ推薦の予定)

(賛助会員) 平成25年6月22日時点・・・34社(団体)

平成26年4月1日時点・・・27社(団体)

(1) 2014年版国際演劇年鑑の編集・刊行・配布

平成25年度文化庁 次代の文化を創造する新進芸術家育成事業(調査研究・委託事業)

主 催 文化庁/公益社団法人国際演劇協会日本センター

国際演劇年鑑/日本編(英語) 「Theatre in Japan」

国際演劇年鑑/海外編(日本語) 「Theatre Abroad」

別冊 紛争地域から生まれた演劇 その5「アラブ・イスラム世界の現代戯曲」

編集(日本編/海外編/別冊とも)

編集長/田之倉稔 事業担当理事/曾田修司

印刷部数

日本編 1200部 海外編 1200部 別冊 600部

配布先

日本語編(Theatre Abroad) 関係官庁、在日公館、図書館、大学演劇科、

執筆者、編集委員、演劇関係者/関係団体、ITI会員、在外日本大使館など

海外編(Theatre in Japan) 関係官庁、在日公館、図書館、国外関係団体(ITI各国センター、在外日本大使館、海外図書館、海外ペンクラブを含む)、執筆者、編集委員、写真提供者 等。

別冊 国内図書館、大学演劇科、執筆者、編集委員、ITI 会員 等

発行日 平成 26 年 3 月 27 日

【特集企画】

「紛争地域から生まれた演劇 5」リーディング公演

日時 12 月 19 日(木)~12 月 23 日(月)

会場 東京芸術劇場 アトリエウエスト

上演演目 『3 in 1』

作=イハップ・ザハダア、ムハンマド・ティティ、ラエッド・シュウヒイ

翻訳=柳谷あゆみ 演出=杉山剛志 (演劇カンパニー ア・ラ・プラス)

『修復不能』

作=アフガニスタン人権民主主義連盟 (AHRDO)

翻訳=後藤絢子

演出=公家義徳 (東京演劇アンサンブル)

『包囲された屍体』

作=カテブ・ヤシン

翻訳=鶴戸 聡

演出=広田淳一 (アマヤドリ)

トーク (12 月 19 日) ゲスト 細田和江

(12 月 20 日) ゲスト ヤルマー・ホルヘ・ジョーフリ=アイヒホルン

(12 月 21 日) ゲスト 宗重博之 (劇団黒テント)

ラウンドテーブル

(12 月 21 日) 「アラブ・イスラム世界の現代演劇とその源流」

報告者 鶴戸聡 ゲスト 七字英輔・新野守弘・

(12 月 22 日) 「変動する世界と演劇の役割」

ゲスト 大橋宏・村山和之

クロストーク

(12 月 23 日) 公家義徳・杉山剛志・広田淳一・鶴戸聡

上演回数 各作品 2 回公演

入場者数 402 名

主催 文化庁／公益社団法人国際演劇協会日本センター

共催 東京芸術劇場 (公益財団法人東京歴史文化財団)

企画制作 公益社団法人国際演劇協会日本センター

協力 一般社団法人日本演出者協会・国際演劇評論家協会日本センター・

特定非営利活動法人ピールビルダーズ・劇団黒テント・東京演劇アンサンブル・村山和之・

Real Heaven・(有)ワンダープロ

技術協力 (有)バランス

プロデュース 林英樹

制作協力 Real Heaven

【特集企画 Part-2】日本—パレスチナ演劇交流セミナー

日時 平成 26 年 1 月 26 日(日) 午後 1 時～5 時
 会場 東京芸術劇場ギャラリー 2
 講師 イハップ・ザハダア ゲスト 佐藤茂紀
 司会 林英樹

(2) 伝統芸能ワークショップ 能

平成 25 年度文化庁 次代の文化を創造する新進芸術家育成事業(伝統文化)

主催 文化庁／公益社団法人国際演劇協会日本センター
 名称 伝統芸能ワークショップ 能—立つ・運ぶ・舞う—
 期間 平成 25 年 8 月 22 日～8 月 30 日
 会場 鏡仙会能楽研修所能舞台および稽古場 (30 日、公開発表会)
 監修 観世鍔之丞師
 講師 観世鍔之丞師はじめ鏡仙会シテ方の諸先生
 (清水寛二、西村高夫、柴田稔、馬野正基、ほか)
 通訳 マーク・大島、ジェームズ・ファーナー
 受講料 30,000 円
 参加人数 26 名 (中国 1 名、韓国 3 名、ポーランド 2 名、香港 1 名、ドイツ 1 名 日本 18 名)

(3) 朗読劇 『この子たちの夏-1945・ヒロシマ ナガサキ』

平成 25 年度 親と子のふれあい交流活動補助事業 JKA (RING! RING!プロジェクト)

日時 平成 25 年 8 月 12 日(月)・13 日(火) 計 3 回公演

会場 世田谷パブリックシアター

構成・演出 木村光一

出演者 かとうかず子、島田歌穂、高橋礼恵、床嶋佳子、西山水木、原日出子、根岸季衣

主催 公益社団法人国際演劇協会日本センター

後援 世田谷区

提携 公益財団法人せたがや文化財団 世田谷パブリックシアター

協賛 日本たばこ産業株式会社

企画制作 地人会新社

東京公演入場者数 884 名

[平成 25 年度地方公演日程]

- ・ 8 月 1 日(木) 2 日(金) ……能登(石川県)
- ・ 8 月 4 日(日) ……大和(神奈川県)
- ・ 8 月 7 日(水) ……尼崎(兵庫県)
- ・ 8 月 8 日(木) ……岡山
- ・
- ・ 東京公演の各回終了後、来場者に東日本大震災被災者への募金を呼びかけたところ、61,888 円が寄せられ、当協会から端数調整の上、
あしなが育英会 「あしなが東北レインボーハウス建設資金」

福島県「東日本大震災ふくしまこども寄附金」
 一般社団法人ふくしま原発避難子供・若者支援機構「たまきはる福島基金」
 上記三団体に各 21,000 円ずつ寄付を行った。

(4) 高校生劇評グランプリ

主催 公益社団法人国際演劇協会日本センター
 実施運営 高校生劇評グランプリ実行委員会
 公益社団法人国際演劇協会日本センター、東京都高等学校演劇研究会、
 ワンダーランド（小劇場レビューマガジン）
 協賛 松竹株式会社、東宝株式会社、公益財団法人都民劇場、公益社団法人日本演劇興行協会、
 協力 歌舞伎座、劇団四季、新国立劇場、新橋演舞場、世田谷パブリックシアター、帝国劇場、
 株式会社東急文化村、東京芸術劇場、フェスティバルトーキョー実行委員会
 ※各劇場、制作会社の協力により特別観劇料金の「高校生応援チケット」を提供する。(※)
 後援 関東高等学校演劇協議会、公益社団法人日本演劇協会
 特別協力 こりっち株式会社

募集期間 平成 25 年 11 月 1 日～平成 26 年 1 月 15 日

応募総数 77 編

(※)「高校生応援チケット」利用者 延べ 351 名

選考査員 扇田昭彦(演劇評論家)、阿部順(全国高等学校演劇協議会事務局長、千葉県立松戸高校教諭)、
 高野しのぶ(現代演劇ウォッチャー、「しのぶの演劇レビュー」主催)、田中綾乃(三重大学准教授、
 演劇評論家)、萩尾瞳(演劇、映画評論家)

入賞者 最優秀賞 1 名 優秀賞 10 名

表彰式 平成 26 年 3 月 31 日 東京芸術劇場シンフォニースペース

(5) 共催事業

・SPT×ITI レクチャーシリーズ「世界の同時代演劇を知る！」

「演劇と社会」

9 月 10 日 (火) 小崎哲哉 (あいちトリエンナーレ 2013 パフォーミングアーツ統括プロデューサー)

10 月 9 日 (水)・10 日(木) 林 立騎 (ドイツ語翻訳者)

12 月 11 日 (水) 木村典子 (舞台芸術コーディネーター)

「世界の同時代演劇」

(1) Vol.1 11 月 13 日 (水) 『『ナパジ・ナパジ』と現代オーストラリア演劇』

講師 佐和田敬司 (早稲田大学教授・翻訳家)

(2) Vol.2 11 月 26 日 (火) 「アラブ・イスラム世界と現代演劇」

講師 鶴戸聡 (鹿児島大学法文学部准教授)

聞き手 林英樹 (テラ・アーツファクトリー代表・演出)

受講料 各回 1000 円 (ITI 会員 500 円)

主催 公益財団法人せたがや文化財団／公益社団法人国際演劇協会日本センター

企画制作 公益財団法人せたがや文化財団／公益社団法人国際演劇協会に本センター

後援 世田谷区

協賛 東レ株式会社

・海外で活躍するプロフェッショナルシリーズ

・「原サチコのぶっちゃけドイツ演劇話～国立劇場専属俳優としてしぶとく生き抜く～」

日時 7月15日(月)19時～21時

会場 東京芸術劇場 5F シンフォニースペース

主催 公益社団法人国際演劇協会日本センター

共催 東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

制作協力：有限会社マッシュ

・「笈田ヨシ 傘寿 “俳優漂流” を語る」

日時 7月29日(月)19時～21時

会場 キャロットタワー5F セミナールーム

主催 公益社団法人国際演劇協会日本センター

共催 世田谷パブリックシアター (公益財団法人せたがや文化財団)

・シンポジウム「春琴一谷崎文学と舞台芸術の国際共同制作」

日程 9月19日(木)

会場 ミシガン大学パワー・センター(アメリカミシガン州)

パネリスト ケン・K・イトウ (ハワイ大学) M・コーディー・ポールトン (カナダ・ヴィクトリア大学)
笈田ヨシ (俳優)

モデレーター J・ズウィッカー(ミシガン大学日本研究センター所長)

主催 日米カルチュラル・トレード・ネットワーク

公益社団法人国際演劇協会日本センター

・フェスティバルトーキョー13

会期 平成2013年11月9日(土)～12月8日(日)

会場 東京芸術劇場／あうるすぽっと／にしすがも創造舎／シアターグリーン ほか

主催 フェスティバルトーキョー実行委員会

東京都、豊島区、アーツカウンシル東京・東京文化発信プロジェクト室・東京芸術劇場 (公益財団法人東京都歴史文化財団)、公益財団法人としま未来文化財団、NPO 法人アートネットワーク・ジャパン

共催 公益社団法人国際演劇協会日本センター

(6) 後援事業

京劇三国志「趙雲と関羽」

主催 特定非営利活動法人 京劇中心
 日時 5月25日(土) - 6月2日(日)
 会場 東京芸術劇場プレイハウス

平成25年度 全日本バレエ・コンクール

主催 文化庁、公益社団法人日本バレエ協会
 日時 8月14日(水) ~ 18日(日)
 会場 メルパルクホール

JATDT 舞台美術展 2014 「Pの間」 問じる～舞台美術の PLAY・PLAN・PLEASURE

主催 日本舞台美術家協会
 日時 平成26年3月21日(金) - 30日(日)
 会場 東京芸術劇場 5F ギャラリー1

(6) 広報事業

- ◆ITI ニュース No. 124 を発行 (2014年1月31日)
- ◆公式ホームページを刷新 (URL <http://iti-japan.or.jp/>)

(7) その他

- ◆ITI 本部理事会出席 (曾田)
- ◆世界演劇学校フェスティバル (GATS) 視察(菱沼・伊藤(巴))
- ◆TPAM in 横浜 2014
 TPAM エクスチェンジ・グループミーティングに出展参加
 2013年2月15日(土) 会場: BankART Studio NYK
- ◆来訪者
 ヤルマー・ホルヘ・ジョーフリ=アイヒホルン (アフガニスタン人権民主主義連盟 (AHRDO))
 イハップ・ザハダア (イエスシアター (パレスチナ))